

●グループ〈わ〉 東日本大震災支援活動

今一度、〔サポート募金〕のお願い

2013 年 3 月

●グループ〈わ〉は、この2年間、独自ルートで現地と連携し、オール KSC で東北支援活動が続けてきました。その甲斐あってか、厚生労働大臣から感謝状もいただきました（25 年 3 月 11 日付け）。この 6 月には第 4 次チームの派遣も進めており、今後も仮設住宅や子供たちへのボランティア訪問を続ける覚悟です。しかし、公的助成金の道が細り、活動を継続するためには自前の資金をふやすしかない状況となってきました。

今一度、新入生・卒業生・KSC 関係者の温かいご支援をお願いします。

●これまで、KSC の皆さんからいただいた「支援活動サポート募金」は約 120 万円に達していますが、15 人程度のチームを派遣すると 1 回約 120 万円かかります。このうち、宿泊・飲食にかかる費用は参加者に自己負担をお願いしていますが、交通費や荷物の託送費・子供たちへのプレゼント・昔遊びの材料費・児童館などへの遊具類は、〈わ〉が負担しています。幸い第 1 次～第 3 次チームには公的助成が得られ、皆さまの協力もあって費用を賄うことができましたが、今後の見通しは明るくありません。

●子供たちやお年寄りの震災後遺症（PTSD）は、1 年後くらいから表れるそうです。現地の児童センターなどの強い要望があり、グループ〈わ〉としても、もう 1 年間「心のケア」を中心とした支援活動を継続したいと思っております。第 1 次～第 3 次支援チームは、子供たちや仮設住宅の皆さんに大変喜ばれ、「神戸のシルバーカレッジから来ました」と私たちも胸を張って活動することができました。

●第 4 次チームは派遣人数を半減し、仙台の豊齢学園と合同で活動するなど、費用削減に努めています。「ありがとう。また来てね」と手を振ってくれた子供たち、「一緒に踊ってくれて楽しかったよ」と言ってくれた仮設のみなさんの声に、なんとか応えてあげたいと思っています。〔できることを、できる範囲で〕というのが KSC のボランティア精神です。

皆さまも、ぜひ、少しでも支援の輪に加わってくださいませんか。

●サポート募金の要領

- ▼1口 1000 円から。毎月でも、半年に 1 回でも歓迎します。
 - ▼個人でも、区会、サークル単位でもかまいません。
 - ▼期限は定めず、いつでも受け付けます。（25 年度中は継続の予定）。
 - ▼わ本部へ持参いただくか、郵便振替などで送金してください。（用紙は本部にあります）。
 - ▼ご協力いただいた方の氏名・サークル名などは、順次、広報誌「ぎやらりー わ」に掲載します。
- （グループ〈わ〉本部事務局はカレッジ 2F 西端にあります。 電話 743-8101）

東北支援活動で厚労大臣感謝状を受賞